

たかねまちづくり協議会事業評価シート

担 当 部 会 名	開発交流部									
1 事業の位置付け (P l a n)										
事 業 名	地域のお宝再発見事業				事業 番号	1-(1)		個別 番号	①	
まちづくり計画書の 基 本 方 針	☒ (1) 地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。 ☐ (2) 地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。 ☐ (3) 美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。 ☐ (4) 地域防災の仕組みを具体化させる。 ☐ (5) 支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。 ☐ (6) 農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。							取組みの方向性や 実施する事業		
								地域の宝物を調査研究 してまとめ、それを情報 発信する。		
計 画 年 度 ※	H24		H25		H26		H27		H28	
実 施 年 度 ●	※	●	※	●	※	●	※	●	※	●

2 事業の実施 (D o)							
事業の内容	概 要	高根地区内各集落のまち歩きにより地域資源を発掘し、マップ、冊子を作る。 ・まちあるき H24⇒関口、北大平、黒田、朝日中野 H25⇒中原、薦川、岩沢 H26⇒高根 ・マップ、冊子製作 H27～H28 編集委員会を設立し編集作業 H29. 2. 1 完成、全戸配布(印刷部数：1,000部)					
	対 象	高根地区住民					
	事 業 期 間						
	成 果 指 標	なし					
	成 果	各集落の様々な歴史などを知るきっかけになった。					
	課 題	ただ冊子にまとただけでなく、その冊子を今後どのように活用していくのか。					
経費及び指標	項 目	H24	H25	H26	H27	H28(見込)	合計
	経 費 (千 円)	141	49	61	54	1,220	1,525
	会 議 回 数	3	2	1	20	20	46
	会 議 人 数	18	12	8	100	100	238
	まちあるき参加者	52	102	49	－	－	203
	冊子制作積立金	300	300	300	250	0	1,150
	全体アンケート					●	
	結果	よかった、ふつう93 / 知らなかった25 / よくなかった9					

3 事業の視点別評価 (Check)	
達成度	成果の達成度 ☒ 達成度はかなり高い ☐ 達成度はやや高い ☐ 達成度は低い (上記選択の理由) H24のまち歩きから始まり、2年間の編集を経て冊子を発行し、事業を完了した。
必要性	実施の必要性 ☒ 必要性が高い ☐ 必要性が今後高まっていく ☐ 必要性が低い、ない (上記選択の理由) これまで専門性の高い書物はあったが、この冊子のように気軽にみんなで共有し後世に残していくべきものがなかったため、必要性が高いと考える。
	まち協が関与する妥当性 ☒ 関与すべき ☐ 集落で実施すべき ☐ 団体等で実施すべき (上記選択の理由) 高根地区全体のことであり、集落ではできないと考える。まちづくり協議会で事業として実施するのが最適である。
	対象・手段の妥当性 ☒ 妥当 ☐ 改善の余地あり (上記選択の理由) 住民とまち歩きをして発見したもの(こと)を、編集委員4名がしっかりとまとめあげ
	事業費の削減余地 ☐ 削減の余地あり ☒ 削減の余地はない (上記選択の理由) 後世に残すものとして、しっかりとした作りにしたかった。そのために積立金により準備してきた。事業費は妥当と考える。
効率性	人員の削減余地 ☐ 削減の余地あり ☒ 削減の余地はない (上記選択の理由) 編集委員は4名で、少数精鋭で作業してきたため、これ以上の削減はできない。
	成果の向上余地 ☒ 余地あり ☐ 余地がある程度ある ☐ 余地はほとんどない (上記選択の理由) 10年後、20年後に、作ってよかったと思ってもらえる時が必ず来る。

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価結果	今後の改革の方向性 ☐ 現状継続 ☒ 見直しのうえで継続 ⇒ 今後の方向性： ☒ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止(発展的解消含む、実施取りやめを含む)
	(上記方向付けの理由) 冊子を活用したイベントに発展させる。
	(改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画) 体験ツアー、ウォーキング、かるたづくり、案内看板作製等を企画する。